

- 平戸市未来創造羅針盤が掲げる地域特性の
新年度予算への反映について



松本 正治議員

地域によってはおのずから活性化に向かっていく地区もあれば、行政の目配り、手当てがなければ住民にとつても満足がいくような手当てがされないのでないかと思える地区もあると思うが、どのように予算に反映していくのかについて尋ねる。

平戸市未来創造羅針盤が掲げる地域特性の新年度予算への反映について、市内で地域の独自性や優位性を生かした「目指すべき姿」を掲げており、このような地域特性を踏まえ、市の将来像の実現に向けて各種施策の推進および健全な財政運営の確立の両立を念頭に編成し、基本的な柱として6つのプロジェクトの将来像の実現に向けた施策の展開を推進していくこととしている。

その中で政策的な事業について、実施計画を基本として、それぞれの地域特性を含みした事業計画となつていると考える。

一例をあげると、たゞほし・元気

●平戸、海のものがたり事業の大幅な収支計画誤算については説明責任が必要だ
●市民サービス対策事業については優先順位を考えるべきだ
池田 稔巳議員

意見 もしものときの安心安全のための施策というが、火災報知機の設置補助や夜間の防犯灯設置補助、火

今回の平戸、海のものがたり事業の目的とプロセスは理解できるが、収支計画に大幅な誤算が出たことは計画に無理があったからではないか、イベント責任者として説明が必要だ。

A 市長

平戸城再築城300周年で、お城も人気があり、ビッグネームでのイベントなので、黙っていても来客があるだろうという油断と慢心がある。この結果になつたと強く反省している。今後はリスク回避に念には念を入れて取り組んでいきたいと考えて

いる。

A 消防長

1 基当たり約9万3千円で、平成31年度に80基、平成32年度に62基整備予定。最終的には既存分(337基)を含め、今後も年々増設していく予定です。

Q 事業の必要性の観点から、消火栓ボックスの今後の整備予定などについて伺う。

かし、観光振興につなげていきたい事業の必要性の観点から、消火栓ボックスの今後の整備予定などについて伺う。

政務活動報告

政務活動費とは、市政に関する調査研究・市政と関連性があるその他の活動に資するために必要な経費の一部として、会派に対し所属議員数に応じて交付されるものです。（1人当たり月額1万円を上限）

研修者氏名	研修・調査内容	研修地
市民クラブ	<p>竹山 俊郎 吉住 威三美 松尾 実</p> <p>10月30日～11月2日</p> <p>①アプリを活用して防災まちあるき視察研修 ②養豚経営の視察研修</p>	<p>① (公社) みらいサポート石巻 (宮城県石巻市)</p>
政和会	<p>山内 政夫 田島 輝美 池田 稔巳</p> <p>③自治体病院の不採算についての国の交付税 措置の今後の状況、地域IoT実装総合支 援事業など</p>	<p>② (有) 下山農場 (千葉県旭市)</p> <p>③ 総務省、農林水産省 (東京都 千代田区)</p>

全ての報告は、議会事務局にて閲覧できます。

● 地域医療について



吉住威三美議員

これを返還型とか近隣病院とネットワーク化することで、40%までもらえるようになる。
できるだけ経費を抑えるためにも近隣病院と検討が必要ではないか。

平戸市議会だより

2019.3.1發行



とかいせん